



おひさま

八代市教育サポートセンター
子ども支援相談室便り
令和5年 1月号
文責 江藤紀子

不登校の「原因」と「きっかけ」

登校に不安を抱えている子供たちには、それぞれに「不登校のきっかけ」と「不登校の原因」があります。
「不登校のきっかけ」と「不登校の原因」は、似た言葉ですが、異なるものです。

☆「不登校のきっかけ」とは？

「不登校のきっかけ」は、子供に聞けば話してくれることが多いです。
子供が登校に不安を見せ始めたら、そばに寄り添い、「私は、あなたの味方だよ。必ず助けるから」と言いながら、子供が「不登校のきっかけ」を話してくれるのを待ちます。
「不登校のきっかけ」で多いのは、次の三つです。

- 先生との関係
- 友だちとのトラブル
- 授業についていけない



話を聴いたら、「そんなにきつかったんだね。」「苦しかったね。」とつらさを共感し、「話してくれてありがとう。」と言います。

もし、「そんなことぐらいで学校に行かないなんて。」「もっと頑張りなさい。」と言われて、今の自分の状態を否定されたら、子供は、話したことを後悔し、心を閉ざしてしまいます。

「不登校のきっかけ」が見えたら、家庭と学校とで情報を共有して、解決に向けて対策を考えていきます。



しかし、「きっかけ」が改善されても登校するとは限りません。
もっと根本的なところに原因が隠れていることがあります。

※裏面に「不登校の原因」について載せています。

☆「不登校の原因」とは？

「不登校のきっかけ」をなくすために家庭と学校とで協力して対応しても、不登校が改善しなかったり、別の「きっかけ」が上乘せされていくような場合は、「不登校のきっかけ」の根っこの部分に「不登校の原因」が隠れているかもしれません。

「不登校の原因」は、本人も気づいていないことが多く、子供の口から聞くのは難しいものです。

「不登校の原因」として多いのは、次の三つです。

- 本人の「特性」に合わない環境や対応により、
過ぎにくさを感じ続けている。
- 本人の「気質」に合わない環境や対応により、
過ぎにくさを感じ続けている。
- 家族や周囲の人とのコミュニケーションの在り方が
合わず、自尊心が下がり元気をなくしている。



子供は、自分でもよく分からない「不登校の原因」を抱え、苦しんでいることが多いのです。登校をしぶったり、腹痛を訴えたりするのは、子供が信頼できる人に送っている大切なサインです。そのサインを受け取って、しっかり読み取る必要があります。

相談室では、そのお手伝いをしています。サインに気付いたら、早めに下記にご相談ください。

悩み相談(不登校など)

「やつしろ子ども支援相談室」は、大人も子供も相談ができます。
不安な気持ちになった時は一人で悩まず、相談してください

●相談方法

- ①電話 0965-33-6145 (相談室直通)
- ②メール kodomo-sien@yatsushiro.jp
または、右のQRコードから



※すぐにメールの返信ができないときがあります。

- ③面談 やつしろ子ども支援相談室(八代市役所4階)

●相談時間 月～金曜日 午前9時～午後2時

